

2011/03/04

社会政策関連学会協議会

ジェンダーと社会政策をどうとらえてきたか 労務理論学会からの報告

清山玲（茨城大学）

1. 労務理論学会の紹介

1. 設立

1991年に設立

学会年報：1991年10月 第1号創刊

2010年 2月 第19号

2. 研究

これまでの統一テーマは

企業経営の実態や新しい方向性

- ・ 日本的経営、新・日本的経営をめぐる議論
- ・ アメリカ、EU諸国、中国・韓国などの企業経営、労働政策、労使関係の動向

具体的な報告テーマ

- ・ 生産システム 技術革新 熟練・技能 国際的な技術移転
- ・ 人事労務管理 コース別雇用管理
雇用流動化 出向・転籍、非正規雇用活用、他
賃金管理
年功賃金の動揺、成果主義賃金
労働時間管理
長時間労働問題、労働時間の弾力化、過労死問題
ワーク・ライフ・バランス
- ・ 労使関係
- ・ 企業の社会的責任 労働 CSR

2. ジェンダーと社会政策をどうとらえてきたか・・・研究の取り上げ方

1. 労務理論学会の統一テーマでとりあげられたジェンダー

統一テーマのメインに女性労働が中心に特集された

規制緩和と経営労務 I 規制緩和と女性労働 1998年 第7号

cf. 「規制緩和・雇用の弾力化と女性労働」「『女子保護』規定の撤廃と女性労働者の人間らしく働く権利の侵害」、「規制緩和と女性労働」

新・日本的経営のその後 I 日本的経営の変化と女性労働 2007年 第16号

cf. 「雇用管理の変化と労働時間」「雇用管理・賃金管理の変化とジェンダー平等」「戦後女性労働の推移と特質」

2. 統一テーマ報告として学会誌に掲載されたものから、女性を中心に扱ったもの
1~19号までで15本・・・タイトルに明記されているもののみで

その他+α

3. ジェンダーと社会政策をどうとらえてきたか・・・批判的視点と可能性と

新・日本的経営とこれを支える規制緩和政策のジェンダーへの影響

・・・①批判的視点で考察

雇用管理、女性保護規定、労働時間の規制緩和、均衡待遇政策
コース別管理、機会均等政策、

②可能性の視点

女性の戦力としての活用、均等政策

ジェンダー平等的な人事労務管理、ワーク・ライフ・バランス実現可能な人事労務管理、労働CSRのもつ企業にとってのメリットに着目した研究も

cf. 日本的経営の変容→経営側の意図を超えて「自立した個人」の育成、「社会化した個人」と連帯